障害乳幼児（母子）通園施設職員研修会　　2009.1.23.

「コミュニケーションの仕組み」・レジメ

阿部幸泰
（「雑学」HP：**http://www.h4.dion.ne.jp/~dekunobo/**）

Ⅰ：　生きる喜び　　イ）人と係わり合う喜び　　ロ）知らないことを知る喜び
生きる→ 人間関係→ コミュニケーション（想いの伝え合い）
・コミュニケーション：互いの背景が異なるだけに、すれ違いや受け取り方に異なりが生じるのは当然であり、だからこそ螺旋的コミュニケー ションが必要。
→ 寄り添い、やりとりの継続
・生きる営み：あえて比べず、生きようとする生命が互いに係わり合い、輔け合いながら、**生きるとはどういうことかを問い続ける活動**。
・話しことばの持つ機能
・コミュニケーション手段の一つ　　・思考の手段　　・行動調整の手段

Ⅱ：コミュニケーションの基本的観点（別紙：「コミュニケーションに関する定義」参照）
http://dekunobo-abe.web.infoseek.co.jp/batuku/21-kouki/komyu-kihon.pdf

Ⅲ：コミュニケーションの信号系（別紙：「信号系」参照）
http://dekunobo-abe.web.infoseek.co.jp/batuku/21-kouki/singoukei.pdf

Ⅳ：コミュニケーションの発信・受信行動の詳細例（別紙：「信号系分類例」参照）
http://dekunobo-abe.web.infoseek.co.jp/batuku/21-kouki/singou-syousai.pdf

Ⅴ：コミュニケーションの互いの背景（別紙：「背景情報」参照）
http://dekunobo-abe.web.infoseek.co.jp/batuku/21-kouki/haikei-jyouhou-zu.pdf

Ⅵ：コミュニケーションを深めるために
（別紙：「コミュニケーション上手は質問上手」参照）
http://dekunobo-abe.web.infoseek.co.jp/batuku/21-kouki/situmon-jyouzu.pdf

Ⅶ：コミュニケーション（やりとり）の関係
（別紙：「利用者の自己決定権と支援の関係の模式図」参照）
http://dekunobo-abe.web.infoseek.co.jp/batuku/21-kouki/syutaisei-sien-mosikizu.pdf

Ⅷ：コミュニケーションは「相互輔生」であり「相互交渉」
（別紙：「『輔』けるという漢字を使う想いとは？」参照）
http://dekunobo-abe.web.infoseek.co.jp/batuku/20-kouki/tasukeru-kanji.pdf

Ⅸ：障害児（親）とのコミュニケーション
・**行動を読み取り、意味づけてくれる人（「オ母サン」）の存在**。
・相手を理解するのでなく、まず**相手が自分を理解者と認めてくれる関係**を築くこと。
・専門家は、親子が**前向きに生きていく勇気とヒント**を授ける存在。
・障害児（親）の行動を意味づけ、**受信したことを、しっかり伝えること**。
・**やりとりが螺旋的に続いてこそ**、コミュニケーションが深まる。

→　一人一人子どもが異なる存在であるだけに実際のやりとりにマニュアルはない。
スタッフ間で係わり合いの**実践を検証し合う勇気**をもつこと。

Ⅹ：質疑応答